



ほ、元み

《病院理念》

- 私達は院是「誠」の医療を推進いたします
1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のごもった公平な医療をいたします

四月、新年度の開始です。心機一転新たな気持ちで地域医療に邁進したいと思えます。今年度は当院では医療機器MRI3テスラの新型に更新いたします。より詳しい患者さまの体内情報を得ることができ、正確な診断、適切な治療に貢献できると期待しております。医療の技術は日々進歩しています。世界に遅れないように毎日研鑽を積むのが地域医療に携わる私たちに課せられた命題と思つて、全職員が頑張つていくところです。



『医療サービスとは』

理事長 松尾 嘉禮

然しながら限りある人材では24時間365日全部に100%の能力を発揮するのはとても難しいことです。夜間・休日は100%ではないことがありますが、できる限り100%を維持する努力はしていますが、患者さまにもご協力をいただかねばならないこともあるかと存じます。応急処置で翌朝の定時の治療に繋げる事になることもあるでしょう。どうか良い医療を遂行することに協力をお願いいたします。

医療の現場には多くのマニュアルが存在し、また法規制も絡んで、現在の医療は二人だけでは完結できなくなってきました。多くのスタッフが関わるチーム医療がなされます。チーム医療には連携、役割分担等がスムーズに進むことが必須です。これらがスムーズに完遂できるには沢山のスタッフが稼働している時間帯が最適とご理解いただければと思えます。

新居浜市傷病者の救急搬送件数は平成二十三年中には合計4811件、その中の2169件(45.1%)が軽傷者でした。救急車の利用法、救急病院のかかり方に工夫してご協力をお願いいたします。

いざという時に軽傷者の処置で手を取られ、重症患者さまの治療が遅滞することのないようにして、地域の皆様の安心を守りたいと思つていきます。よろしくご理解をお願いいたします。

院外医療講演の報告

『認知症予防』～リハレクしましょう～

2月12日(火)午後1時30分より、若宮公民館にて『認知症予防～リハレクしましょう～』と題して、作業療法科主任 曾我部有司による院外医療講演を開催しました。対象は若宮校区在住の高齢者で、受講者は男性5名、女性16名の計21名でした。

講演は、体操やストレッチのみならず「動物のイラストを用いた神経衰弱」、「両手じゃんけん」、「あやとり」といった、認知症予防という題材にそったレクリエーションを交えた内容で、参加者からも終始笑顔が見られる講演となりました。



『生活習慣病を予防・改善する食生活』

平成25年2月14日(木)午後2時30分より、住友化学体育館にて『生活習慣病を予防・改善する食生活』と題して、栄養管理科科长 山内智美による院外医療講演を開催しました。対象者は住友化学愛媛社友会会員で、参加者は64名でした。

講演は、頻度の高い生活習慣病、メタボリックシンドローム診断基準、適正エネルギー、バランスのいい食事等についてスライドショーを用いた説明や、受講者の食生活のチェック、食事の組み合わせのクイズ等、受講者にも積極的に参加していただく形式を取り入れた内容でした。

最後に、上手な食事の摂り方として、

- ① 一日三食規則的に食べる
- ② 毎食「主食+主菜+副菜」をそろえて、バランスよく食べる
- ③ 適正体重にあった量を摂る
- ④ よくかんで、ゆっくり食べる

の4項目を挙げ、講演を終えました。

住友化学愛媛社友会では「生涯学習で心豊かで楽しく長生き」をモットーに定期的に学習会が開催されており、受講者の関心も非常に高く、活発な質疑応答が行われた講演となりました。



『腰痛と予防体操について』

2月4日(月)午前10時より、中萩公民館にて『腰痛と予防体操について』と題して、理学療法科主任 原和樹による院外医療講演を開催しました。対象は高齢者で、受講者は19名でした。

講演は、腰痛を起こす原因、腰痛疾患に対する基礎知識、慢性腰痛症の予防方法、介助姿勢等、スライドショーを用いた説明を行いました。

介助については、あくまでもできないところを助けることであり、できる限り本人の努力を促すことが重要であること、ストレッチや運動については効果的な運動でもすぐ挫折してしまうより、簡単な運動を継続することが重要であることを説明した後、実際に介助姿勢やストレッチ、運動を受講者の前で紹介するといった講演で、質疑応答も活発に行われました。



『関節リウマチ』～ここまで進んだ診断治療～

2月7日(木)午後2時より、別子銅山記念図書館にて『関節リウマチ～ここまで進んだ診断治療～』と題して、整形外科非常勤医師 いまなかクリニック院長 今中徹先生による健康講座を開催しました。受講者は52名でした。

講演では、関節リウマチは早期に発見し積極的な治療を開始すれば、関節破壊は起こりにくいので、リウマチの症状があった場合は、専門医を受診するようにとのことでした。

1999年頃までは医師により、薬の種類や量、投与順序が違っており、治療成績にバラツキがありましたが、リウマチ専門医による最新の治療であれば、薬の使用順序や量、副作用の予防法、効果の判定法がほぼ同じで、同じ治療成績となります。

今後、確実な診断と有効・安全な治療を継続するためには、かかりつけ医とリウマチ専門医による医療連携ネットワークが不可欠であるとのことでした。約1時間の講演で、受講者とも活発な質疑応答が行われました。



中央材料部の仕事

手術室 桑村 泉穂

病院には、中央材料室という場所があります。ここでは主に病院で使用した器材の洗浄・消毒・滅菌を行っています。

洗浄とは使用した器材を洗うことです。洗うと簡単に言いましたが、病院には多種多様な器材があります。そのため、器材に合った洗剤・洗浄方法を行う必要があります。こうすることで器材を長く使用できるようにになります。

次に、消毒を行います。消毒には熱湯を用いる場合と消毒剤を用いる場合があります。これらも洗浄と同様、器材に合った適切なものを使用しています。消毒により器材を清潔に保つことができます。

最後に滅菌という工程を行います。この工程が最も大事になります。滅菌というと聞き慣れない方が多いと思います。簡単に言い換えると、器材にいる菌を全てなくすことです。これには専用の機械を必要とします。滅菌を行うことで感染を防ぎ、安全に器材を取り扱うことができます。

今回、中央材料室での主な業務内容について説明しました。あまり知名度は高くありませんが病院では大変重要な業務を担っています。



第4回 看護部発表会



今年で4回目となる看護部発表会を3月2日(土)、5階大会議室で開催しました。今では、恒例となった各部署からのバザーは、看護部以外の職員からも大人気でパンやクッキー、桜餅など手作りのお菓子やカレーライス、豚汁などが販売され、大賑わいとなりました。



又、展示物では各部署の活動や目標達成度をパネルや写真で紹介しました。発表会では、ICLSバージョン救急対応をデモンストレーションで披露し、緊迫した中でも落ち着いた対応は、参加者からため息が漏れるほどでした。臨床指導者会は実習指導統一に向け、各実習の目的や目標を提示しました。



3年目研修では、胸腔ドレナージ・CVP測定方法を基本に沿って再学習し、ビデオ学習などを取り入れ、安全に看護実践ができるよう知識・技術の構築を行っていました。



2病棟・3病棟・6病棟はそれぞれの特殊性を活かし、チームで取り組んだ内容を発表しました。

看護部が日頃、お世話になっている他部署の職員の方3名に、感謝状を贈りました。看護部長と副部長による伝達ゲームでは、部署対抗戦でチームワークを結集し、盛り上がりを見せました。



年度末に行われる看護部活動報告会がありますが、達成感や充実感、そしてモチベーションアップに役立っています。来年度も、よりよい看護をめざし努力していきますのでこれからもよろしくお願ひします。

十全看護専門学校 第26期生 卒業式

3月5日(火)、救急棟5階大会議室において、第26期生の卒業式が挙行されました。

来賓の方々、保護者、在校生の見守り中、卒業生30名(女子27名、男子3名)が松尾学校長より卒業証書を授与され、使命感に燃え巣立っていきました。



糖尿病教室のお知らせ

春だ！元気な体で満喫しよう！



日時 毎週水曜日 午後2:00～

場所 外来棟3階 カンファレンスルーム



外来棟3階のご案内図

ポカポカ陽気になりました。お花見に出かけませんか。
きっと、新しい発見がありますよ。

どなたでもお気軽にご参加ください。
お申し込みは不要です。

開催日	内 容	担 当
4/3(水)	お花見に行こう！ ～食事はどうしたらいいの？～	内科医師 管理栄養士
4/10(水)	体を動かそう(実践編) ～自分にあった運動を見つけよう～	理学療法士
4/17(水)	出かける時の注意点 ～これだけは忘れないで～	薬剤師 看護師
4/24(水)	きれいな景色を見よう ～網膜症の検査も忘れずに～	眼科医師 臨床検査技師

※都合により内容が変更になる場合があります。

第8回 十全総合病院クリニカルパス大会

3月1日(金)午後6時より救急棟5階大会議室において、第8回 十全総合病院クリニカルパス大会が開催され、院内外から多くの参加がありました。

今回は、北野病院看護管理室主任・医療連携コーディネーターの重田由美先生より、地域連携クリニカルパスとチーム医療についての特別講演がありました。病院と診療所などの連携をスムーズにするためには、地域連携パスが必要となります。

いろいろなスタッフが関わって患者さまを支えるため、パス構築時には手段よりも先に相手を知ることが先決であると述べられていました。

特別講演後には、看護部より新規パスの紹介、各病棟におけるパスの使用件数、バリエーション評価の現状、入力方法の説明がありました。

会場から多くの質問があり、有意義な時間となりました。





献血御礼

2月8日(金)午後2時30分から、当院救急棟前駐車場において、愛媛県赤十字センターの移動採血車による献血が実施されました。

【実施結果】
 受付者数…10名
 400ml献血……5名
 不採血……5名

献血にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。あなたの優しさは、多くの人を元気にする力を持っています。次回も、皆様のご協力をお願いいたします。



病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしく申し上げます。 病院長

移動図書館 青い鳥号 来院予定日

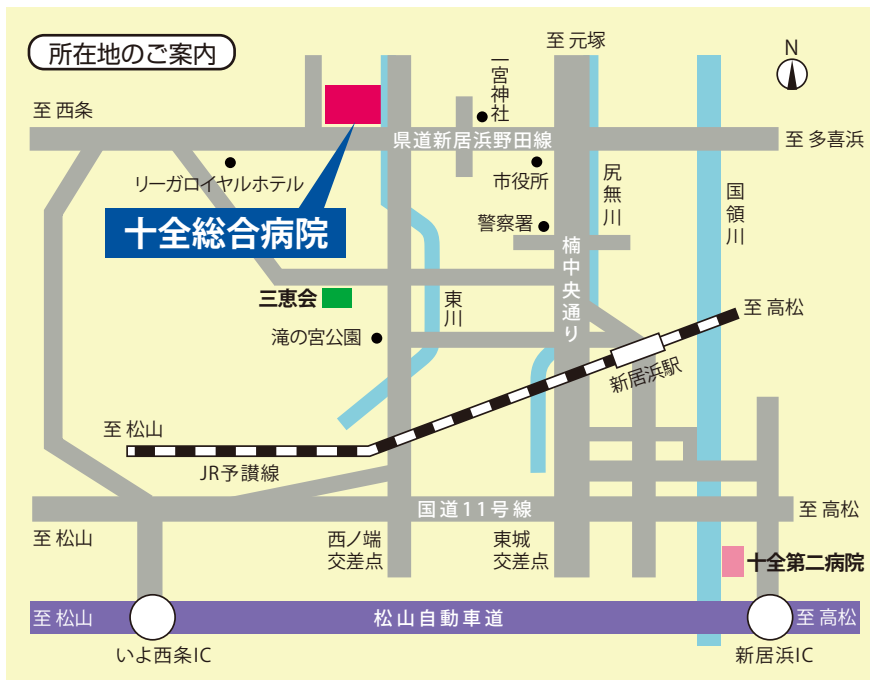
4/10水・24水

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全病院前」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にはいま)駅下車、タクシーで約10分

患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会

未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化



医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の育成校は【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
総合福祉館 コミュニティハウス三恵
福祉館 恵海
児童福祉施設 中萩保育園
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。